

里づくりテーマ：グローバルな里づくり「結い」

(ずっと美しく豊かな町で生活を続けていくための活動)

- 住んでいる人が幸せだと思える里→「楽しみ」「やりがい」が持てる活動
- いろいろな世代、いろいろな国の人と交流し、ワクワクする里→グローバルという差別化
- 5年後も10年後もここで暮らしたいと思える里→持続性のある活動

【今ある地域資源】

- 食（無農薬天日干し米・古代米・沼山大根・無農薬野菜・手作り味噌・山菜・餅・柿・こはぜ）
- 山女魚（湧き水での養殖）
- 温泉（岩見温泉）
- 古民家（大張野）
- ★国際教養大学

現在の地域状況

◇農業従事者の高齢化、担い手不足による休耕田の増加、若い世代の町離れなどがあり、今後は一層過疎化が深刻化すると思われる。
◇寂しい町に明るい話題を作ろうと、地域の小中学生や国際教養大学の学生と田植えや稲刈り、English Projectなどのイベントを開催。地域の方々に協力していただいている。また地域の方も若い世代と交流することで楽しみができ活気がでてきたように見える。

◇無農薬での米や野菜の栽培、放置された柿で作る干し柿、山菜料理、味噌づくりなど、地域資源のおいしさを楽しむイベントやEnglish Projectを数年前から開催している。これまでの経験やアイデアを活かして、ボランティア活動から事業化へステップアップし、地域に貢献したい。

【里づくり計画】計画策定・拠点整備・活動支援

<計画策定>

◇多くの人との意見交換会を開催し、何ができて何が問題かを明確化し、応援団と協力者、理解者を募る。
地域の方々が「こうなったら幸せだ」と感じられる未来を創造し、実現するための計画を策定する。ひらめいたアイデアは企画化し、小さな商いをたくさん派生させて勢いのある活動にする。活動が形となったら、それぞれに団体を設立し活動を広げる。

<拠点整備>

- ◇古民家の再生(受入拠点の整備)
- ◇食品加工場の整備
- ◇農業体験のための農園を整備

<活動支援>

- ◇国際教養大学等、学生や子ども達の農業体験の受入
- ◇古民家再生プロジェクトのワークショップ
- ◇English Project(国際教養大学の学生と生の英語を楽しむ体験)
- ◇企業版田んぼオーナー制度
- ◇地域資源を利用した商品の開発、パッケージ作成、販売 など
- ◇地域散策マップの作成、HP作成、地域PR動画の作成 など

魅力ある里づくりの構想(目標)

①六次産業への参入

- ◇「名もない柿の干し柿」を筆頭に、「名もない」シリーズの商品企画の展開
- ◇幻の大根といわれる「沼山大根のいぶりがっこ」の商品化
→R5 1,000,000円
- ◇各種体験イベント
→R5 200人
- ◇農泊
→R5 50人
- ◇企業版田んぼオーナー制度
→R5 1~2社契約



古民家再生プロジェクト



農業体験



English Project



沼山大根



手作り味噌